

## 有機農業の進捗状況について

産地支援課

### ○有機農業の取組面積

- ・有機JASほ場面積は令和4年の192haから284ha(農林水産省公表値)となり、耕地面積に占める有機JASほ場の割合は0.79%と、全国平均の0.44%に比べ高くなっています。

項目	R2	R3	R4	R5
有機JASほ場面積(ha)	176	182	192	284
有機JASほ場の耕地面積割合(%)	0.48	0.50	0.53	0.79
有機JAS認証取得者(人)	56	63	69	74

### ○有機農業の産地づくり

- ・県ではマーケットインの視点で有機農産物の生産拡大に取り組んでおり、実需者から求められるロットの確保や品目の生産拡大に向けて、地域における育苗体制整備、機械の共同利用、作業受託などの仕組みづくりにより、有機農業の産地形成を進めています。
- ・米では実需者とのマッチングを進め、生産者と取引量がともに拡大しています。また、JAしまねでは有機米に取り組みたい生産者に水田除草機を貸し出すなど、新規栽培者の確保に向けた取組が進められています。
- ・野菜では実需者が求めるブロッコリーやミニパプリカなどの露地品目を中心に、導入を進め、取組が拡大しつつあります。
- ・令和4年に連携協定を締結した楽天農業(株)が、令和5年から邑南町でサツマイモの作付けを開始されました。令和6年度は、邑南町と浜田市において、ブロッコリーとサツマイモを作付する予定であり、今後、地元農業者とも連携した産地づくりを進めます。



※割合(折れ線グラフ):有機JAS認証面積が耕作面積に占める割合